

こども若者★いけんぱらす いけんひろば

～若者と食の今後について考える！～

報告資料

令和5年8月2日・3日開催

目次

① 食の安全保障

- 「食料が食べられない、入手しにくくなるかもしれない」と感じた出来事やニュースは何ですか。その出来事を経験したり、ニュースを見たりして考えたことは何ですか。
- 日本に住む人が今後、食料に困らないようにするにはどのようなことをしていく必要があると思いますか。

② 農業者の人口減少

- 「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージは何ですか。
- 農業がどんな仕事ならやる人が増えると思いますか。
- 日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

③ 農業・食品産業の環境対応

- 「食品と環境のかかわり」を感じた出来事やニュースは何ですか。その出来事を経験したり、ニュースを見たりして考えたことは何ですか。
- どのような取り組みがあると環境に配慮した食品が購入されるようになると思いますか。



概要

テーマ	若者と食の今後について考える！
担当省庁	農林水産省
開催日時	<ul style="list-style-type: none"> ○対面開催回 令和5年8月2日（水） 14：00～16：00 ○オンライン開催回 オンライン①：令和5年8月3日（木） 13：00～15：00 オンライン②：令和5年8月3日（木） 16：00～18：00
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ○対面開催回 大手センタービル（ルームB）（東京都千代田区大手町1-1-3） ○オンライン開催回 Webex
参加対象者	ぷらすメンバーのうち、中学生～高校生世代
参加人数／グループ数	<ul style="list-style-type: none"> ○対面開催回 12名 / 4グループ ○オンライン開催回 オンライン①：12名 / 3グループ オンライン②：10名 / 3グループ
ミニテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ① 食の安全保障 ② 農業者の人口減少 ③ 農業・食品産業の環境対応

- 「食料が食べられない、入手しにくくなるかもしれない」と感じた出来事やニュースは何ですか。その出来事を経験したり、ニュースを見たりして考えたことは何ですか。

価格

- 卵や野菜が値上がりしたことによって、それらを原料に使った料理や加工品が減ったり、ステルス値上げがされていた（値段は一緒だが量は減っていた）りして、おどろいた。
- 最近、身近なお菓子やアイス、肉などが値上がりしたというニュースを見た。それらの原料となる小麦や卵、飼料などの物価が上がったことにより、今まで食べられていたお菓子やお肉などが簡単に食べられなくなるのではないかと心配。



異常気象

- 円安の影響もあるが、異常気象等で作物などがあまり育たなくなり、原材料が値上がりしている。
- 今年は梅雨の時期も雨があまり降っていないなど雨が少なく、水やりをしても作物がすぐ枯れてしまう。

国際情勢

- ロシアのウクライナ侵攻で小麦などの多くの輸入量が減って食料の値段が高くなっているのだろう。また、ロシア産のカニや海産物がどうなっているのか不安。
- 戦争以外にもコロナで輸出入に影響があり、多くのものが価格高騰し不安。
- 将来人口爆発がおこれば、昆虫食、コオロギなどは、タンパク質が豊富なので体によいし、CO2を出さず環境にもよいと聞くと、加工されていたら食べることはできるが、虫が好きなのであまり食べたくない。

作物・家畜の病気

- 鳥インフルエンザが今年流行ったので、それで卵が高くなったのかなと思った。食料の購入で困らないようにするためには、色々な入手ルートを確認したり、日本国内で作れる量を増やしたり、農業に従事する人を増やしたりすることが大切。

- 「食料が食べられない、入手しにくくなるかもしれない」と感じた出来事やニュースは何ですか。その出来事を経験したり、ニュースを見たりして考えたことは何ですか。

食品の安全性

- 遺伝子組み換えや人工添加物が増えてきているが、手を出したくない。
- 最近、添加物不使用や遺伝子組み換えでないことにこだわったり、地域のものを使ったりなどするお店が増えてきており、それらは地域を活性化することにもつながってよい。
- シジミの原産地表示を偽装していたことについて、漁師は割に合わないと言っていたが、中国産を国産と偽るのはよくない。

農水産物の保護

- シャインマスカットの品種が流出していることは驚いた。
- 魚の乱獲などで魚が減っていると聞いたことがある。実際サンマの漁獲量が減っていて、最近値上がりしている。

過疎地の食品アクセス

- ガソリン代の高騰などが原因で移動販売が来なくなり、地域の人々の買い物の手段が少なくなってしまった。個人商店では、価格の変動が大きく商品の値段が高いため、買い物をする人も少なく、地域の活性化につながっていない。
- 2024年問題でさらにモノの値段が上がると困る。過疎地域などでは、ネットスーパーでも特別料金がかかったり、配達までに時間がかかる。車を持っていない人向けに、トラックでたくさん食材を仕入れてきてくれる人がいるが、会員制で月額も高く、色々な人が利用できるわけではない。



- 日本に住む人が今後、食料に困らないようにするにはどのようなことをしていく必要があると思いますか。

国産農作物・食品の活用・確保

- 戦争などが起こった際に困らないように、輸入に頼らず、国内で生産していくことが大事であり、そのために米粉の開発を進めるなど国内の既存の農作物の活用・増大を図る。
- 形の悪い作物も販売するようにすれば、私たちに届く量は確保できるのではないか。
- 地産地消など地元の食品や文化を大事にすると良い。

国産農林水産物等の安定的な生産・供給

- 自給率を上げるために天候に左右されない、食料を作りやすい建物を造るのが良い。日本の農地は少ないので、建物にしたら縦に何階層も作れるので効率的に作るできそう。
- 日本の養鶏場で、国産の飼料は高くても国産を使えば、安定的に供給できるので（結果的に）値段は抑えられると思う。
- 魚の乱獲などによる資源減少については、できるだけ養殖の比率を増やしていく。



国内の生産者の増加・支援

- 農業従事者を増やすと安定的に供給できると思う。
- 昔のように自分が食べられるもの、最低限のものを自分で作れたらよい。あるいは、自分の家のちょっとしたスペースで栽培して、地域での交流を兼ねてそれを交換するような、お金にこだわらない仕組みを作ればよいと思う。
- 家族主体の農業だと後継者がおらず廃業する可能性も高い。廃業した人の田んぼについて、若手農家がいって買って集団で運営する取組などを、補助金や人の面で行政がしっかりサポートした方がよい。

アクセス性の向上

- 買い物に行けない高齢者に向けたお弁当・惣菜を低額で配達するサービスなどは、行政が中心になって地域を挙げてやった方が効果的。

入手ルートの多角化

- カニや牛タンなど多くを輸入に頼っている食材は、戦争などにより入手が困難になることも想定し、色々な入手ルートを確保しておくことが大切。

- 「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージは何ですか。

働く環境の良さ

- 自然に囲まれていて、都内で会社に勤めるのに比べてストレスも少なく人間らしい生活ができる、音楽をかけたり電話をしながら仕事ができる。
- 高原野菜など希少な野菜を育てている農家は、稼いでいるイメージ。

達成感がある

- 農家は、自分が作った野菜を苗の段階からすべてお世話しているので、「自分が作りました」と言って販売することができ、農業をやる上でのモチベーションになる。
- 自分で野菜を育てて、大きく育ったり、料理しておいしいと感じられると、がんばったという達成感がある。

大切な仕事

- やってみたいというよりは、必要不可欠な職業。輸入だけになると、何かあった際に不安になってしまう。それだけ大切な職業なので誇りある仕事。

高齢化・多国籍化

- ある県ではみかん農家が高齢者しかいないという現状があり、自分たちの代で終わりにしようという農家が多く、みかんが流通しなくなる日が来るかもしれないと危機感を持った。
- 外国人が留学で農業を学ぶことが多いと授業で聞いたことがあるため、外国人がたくさん働いているイメージ。

新たに始めにくい

- 家族経営のイメージがある。田畑を使用し続けなければ農作物の生産や品質を保つことができないということから、家族経営で世襲していく方が安定することもあり、新規参入者はノウハウもなく売れるものを作れないというデメリットがある。
- 農業従事者は慣れている人の方がよいというイメージ。
- 農業をはじめるともお金がかかる。機械、ハウスなどがもう少し安く手に入ったり、安定した収入があればいい。

- 「農業を仕事にする」と聞いて思い浮かべるイメージは何ですか。

重労働・維持が大変

- 農業は**重労働で大変**というイメージで、**低賃金**でもあるところが、やりたくない原因。
- 天候に合わせて働く**ので休みがなく、**暑い**ので**体力的に厳しい**イメージなのであまりやりたくない。
- 農業には**人がたくさん必要**になると思うため、**人集めの難しさ**も解決していかなくてはいけない。田植えのときは**家族全員で隣の家の人を巻き込んでやっている**イメージ。
- 価格設定や収穫時期**を考えると、**力仕事が大変そう**。

休みがとりにくい・長い労働時間

- 家族旅行の時間を確保できないなど**長期間の休みを取ることができない**ため、農業や酪農を営む家庭の子の中には**家業を継ぎたくない**人もいた。
- 普通の会社員は休みが取れるが、**早朝に起きて収穫**しなければならぬなど**農作物を育てるとなると休みは自由に取れない**。

不安定

- 気象条件に左右され、**不作**によって生活ができなくなってしまうなど、**農家を救う仕組みがなく、リスクの高い職業**だと感じる。また、**天候の影響**などによりすぐに**作物の状況が変わってしまう**点も難しい。
- 自然災害**で1年かけて育てた農作物が一瞬で**収穫できなくなる**、**すぐ病気になる**、**熊に食べられてしまう**、**高級フルーツが盗難にあう**などの話をきくので、そういった経験をしたくないという若者の思いがあると思う。また、自然災害にさらされたコンバインなどの**機械は、2・3年で壊れてしまい、お金がかかる**。
- 食の安全という面でとても重要な分野であるにもかかわらず、**農産物を一生懸命作っても、買い手がいなければ結局収入が入らない**など、**大変そう、休みがない、収入が低い、災害・天候のリスクがある**ので、多くの人が避けたいと思っている職業。結果的にずっと農業をやっていた**高齢者の方だけがやっている**。

- 自分はやってみようとは思わない。炎天下の中で仕事するのは**大変だし、定期的に生育状況を確認**しなければならない。**休みがある仕事**をしたい、**農業はやりたくない**。農家の減少を抑えるためには、このような状況を改善する必要がある。

- 農業がどんな仕事ならやる人が増えると思いますか。
- 日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

農業の安定化・効率化に関する意見

安定した収入、 労働時間・休暇制度

- 複数の農家を会社化し、サラリーマンと同じように1日8時間勤務、週休2日・給料制、有給休暇があるなど、安定していることが大切。
- 欧米のように、販売のルートが確立されている企業化された農業ならやってみたい。また、その場合、普通の就職の選択肢として農家が挙がるようになり、自然と農業者は増える。
- 農業をすると畑に縛られてしまい休みが取れないが、共同経営するとまとまった休みが取れ、旅行しながら農業もできたりなどハードルが下がると思う。また、何人かでチームを組んで始めると、お互い助け合えることができて良い。

• 農業者の給料が低いという話があったが、普通に生活できるだけの給料がもらえ、普通の会社と同じように具合が悪い時に休めるならやってみよう。

• 給料が上がったり、農業だけで生計が立てられたり、異常気象で農作物が台無しになったときも助けてくれる制度や保険があると、農業をする人が増えると思う。

• 美味しい農作物を作ったら、それだけ収入がきちんと増える仕組みがあるとよい。

6次産業化・農産物のブランド化

- 農家が自ら加工・販売までやるのは、お客さんの顔も見えしすごくよい。農業以外にもアパレルなどと協力しあって6次産業的な農業が進んだら、個人の負担も減るし、地域の活発化にもつながり、もっとやりたいと思う人が増えるのではないかな。



• レストランに星を付けるようなイメージで、良い農作物は高い値段で売れるという仕組みとして、国が農家をランク付けする仕組みを作るのはどうか。

- 農業がどんな仕事ならやる人が増えると思いますか。
- 日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

農業の安定化・効率化に関する意見

効率的な農業 自動化・機械化

- 金銭的負担は大きいですが、AI、スマート農業、遠隔操作などによる農作業の自動化により、外で暑い・寒い中で作業をしなくてもよくなり、肥料や除草剤を、ドローンを使ってまくなどの農作業が効率化されれば、楽しくできてよい。一方、人にしか判断できない部分、品種改良などは人間がする仕事。
- 地域単位でも良いので、会社のような仕組みを作り、農業のITを導入したり、投資をしてもらえる制度を作る。
- 散在している田んぼの場所を1か所に集めると、移動などに体力を使わずに済むのでよい。
- 長年農業に従事している人の経験と知識を検証・データ化をすることで、新規参入の支援や気候変動の対策に役に立てる。また、どれくらいで収穫できるかが自動でわかるアプリなどがあれば、初心者でも分かりやすくよい。
- 都市でつくれば輸送費もかからない。植物工場が普及したら効率よく作れると思う。建物のなかでは水やりや生育状況の確認、肥料散布などをスマホで管理できてよい。
- スマート農業等もいいと思うが、人の手で作ったものを食べたい

田畑の有効活用

- 今お米が余っているため、お米を生産している田んぼを小麦など他の農作物の生産のために使い、お米以外の自給率を上げるために、それらの生産者を増やすことが大切。



- 農業がどんな仕事ならやる人が増えると思いますか。
- 日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

農業を始めやすくする教育・発信に関する意見

農業に関する教育

※農業の知識・技術の伝達に関すること

- 義務教育の過程で農業の実践的な教育として、例えば学年で1個畑をつくって6年間管理するなど農作物を作る機会をつくり、1人1人が農業の技術や知識を身につけることができれば、実際に農業に参入する際の大変さ・良さがわかるし、将来輸入が途絶えても、自分たちで食料を供給できるようになるのでよい。
- こどもが放課後や週末に集まる農園を経営し、こども食堂用やこどもが持ち帰る用とする、または、「〇〇のこどもたちがつくりました」というシールをつけてスーパーに並べる。



農業の魅力発信

※生産者の応援と、農業への興味関心の喚起

- 農業について若者は給料が少ない、面白くなさそう、という悪い印象を持っていたり、農業という仕事が漠然としすぎていてイメージがわからないので、農業をカッコよく見せる方がよい。
- 若い人には仕事が農家だけでは魅力的に映らないと思う。週末別荘という感覚で自分のやりたい仕事をやりつつ、副業やアルバイトで農業ができるシステムに加えて給料も良ければ、若者も農業をするのではないかな。
- 小学生の時に農家が農業について説明したり、こどもたちが農業の実際の現場を見学できると、知らないことを実際に見ることができ、興味を持つ人が増えてよい。

生産者の見える化

※農業の魅力の発信内容・方法に関すること

- ラベルに生産者の名前やHPがあれば確認するし、スーパーの地産地消コーナーで、農作物に生産者の顔写真があれば親近感がわく。一方、消費者が安心できるように生産者を明記するのに、生産者の名前で選別され、ある農作物は売れないなどの状況ができれば元も子もない。
- 消費者と農家をリンクできる仕組みとして、例えば、調理済みの料理を食べて、玉ねぎがおいしいと思った時に、どこの農家で作られたか知ることができる仕組みがあれば、利用する人はいる。
- 今どきのカフェを設置して、何か飲みながら農業を見学してもらう。また、農家が家の一部をイベント等に貸し出すなどの取組が広がれば、畑の景色や作業を見ることができ、地域の人々とも交流できてよい。

- スポーツチームで、午前中は農業して安定した収入を得て、午後は練習するという記事があった。引退した後に農業に就く人もいるようなので、そのような選択肢を発信してもいい。
- 地元新聞の若者世代向けのコーナーで、化学肥料を使わない農業の紹介があり、やりがいを書いてあったが、文章ではなく、アニメなど子どもでも親しみやすい方で発信した方がよい。
- 農林水産省やこども家庭庁、農協などから、農業の魅力や体験談などをまとめて楽しくわかりやすく発信してもらえると、若い人の理解が深まると思う。

- 農業がどんな仕事ならやる人が増えると思いますか。
- 日本で今以上に農産物を生産していくためにはどのような取組が必要だと思いますか。

農業を始めやすくする仕組みに関する意見

農業への入り口づくり

- 農業に興味がある人と経験がある人が何回か一緒に農業をやってみることができる場所や、農業をやりたい人と農業をやっている人をつなげる場所が必要。幅広い年代の人や教えてくれる人がいて、収穫時期や商品として売るコツ等をストレスなく会話できる場所があったら、農業が始めやすそうだし、農業に興味を持つ人が増えると思う。
- 都道府県がお金を出して数年間若者に農業に従事してもらう制度があり、最初は安定して農業に取り組み、その後続けるかは本人が決められるので、このような制度がもっとあれば、農業を始める人が増える。
- 会社のビルに家庭菜園をつくる、一年間期間限定などで社員が農園を運営するなど大人でも農業体験するとよい。

初期投資の軽減

- 農業を始めやすくできればよい。例えば、トラクターや殺虫剤をまくドローンなど、高額な機械は複数人で使うことにすれば、農業を始めやすくなり、新規参入者が増えると思う。
- 農地の貸出制度は、農業を仕事にしようとしている人だけでなく、健康などに良いから自宅で食べる分だけ生産したいと考えている人などにとっても農業を始めるハードルが下がり、とても良い仕組み。

- 農業者パスポートのような特典、例えば、自分の野菜を仕入れているレストランの割引券があるとやる気も出そうでよい。
- 都会で農業ができるようになったり、苗を植える・水の状態を確認する・収穫するという作業がデジタル化されて定点カメラで確認できて毎日通う必要がなくなったりすればやってみたい。逆に、田舎で都会の人を呼んで実際に農業の現場をみせるなどすれば人が増える。
- 若い人が農業に従事することが出来れば興味が出てくるかもしれない。農業従事者全体が増えればやりたいと思うかもしれない。



- 家庭菜園の規模の農地を借りてやってみるのはどうか。
- オールレンタルで出来る農業が良い。
- 移住したら土地代が無料になるから農業をやってねという支援があるとよい。

- 「食品と環境のかかわり」を感じた出来事やニュースは何ですか。その出来事を経験したり、ニュースを見たりして考えたことは何ですか。

包装・付属する食器

- プラスチックストローから紙ストローに変わったことが、どれくらい環境に良い影響をもたらしているのかがよくわかっていない。
- スーパーでは、売り物はカゴのまま持ち帰って、使わなくなったら返金するシステムにすればよい。また、トレーに入った商品を買うのではなく、持って行った容器に入れてもらう仕組みがあればプラスチックなどのゴミも減らせてよい。
- 食べられるストローはクッキーで出来ているが、プラスチックに包まれていたので、結局環境によいのか疑問。
- ストローやスプーンが使い捨てではなくなってきたので、料理にかぶせるラップもミツロウのラップのようなものがもっと普及したらよい。
- 一般的になりつつある宅配やテイクアウトでは、要らないと言わないと箸やフォークが付いてくるし、使い捨て容器を使っているので結局ゴミが増えている。
- コーヒーショップでは、タンブラーを持っていくと割引してくれるので、消費者にも環境にもすごくよい。
- 外国では購入した飲み物の容器をお店に返却すると代金の一部が返ってくるデポジット制があり、日本もそうなればよい。

食品の物流

- 消費者の近くで育てられた農作物を食べれば、配送の距離が短くなるためその配送コストも安くなり、環境への負荷も軽くすることができる。
- 新幹線などの鉄道での配送は、早い上に一気に運ぶことができるため、コストが安くすみ、環境にも良い。
- 輸入食品は輸送コストがかかるので、地産地消だと環境にいい。



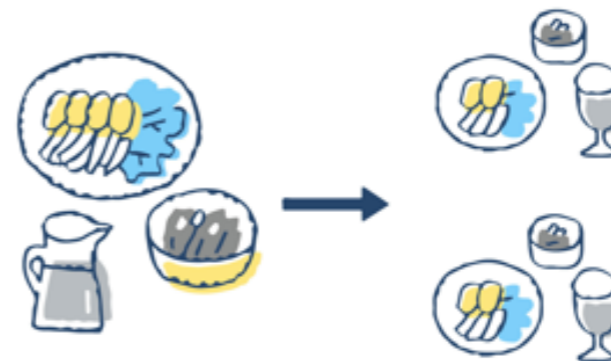
- 「食品と環境のかかわり」を感じた出来事やニュースは何ですか。その出来事を経験したり、ニュースを見たりして考えたことは何ですか。

食品ロス

- 規格外の果物をジュースやジャムにすると食品ロス削減につながってよい。
- 傷がついたものを買うとクーポンやポイントがもらえるようにすると、買いたくなり、売れ残りが減ると思う。
- 売れ残った食品を家畜や動物の餌にしたり、フードロスの商品だけを集めたコーナーを作り、フードロス商品を安く売る、生活困窮者に配ったりするなどの活動が普及したらよい。
- スーパーなどで季節・行事ごとのその日しか食べない食品を完全予約制にして、売れ残りがないようにした取組はよい。
- 流行語にもなっている「てまえどり」のポスターなどがコンビニにあり、企業も食品ロス削減に努力していることがわかる。
- お弁当などで「大盛り」はあるけれど、残す人の方が多いので「少なめ」をつくとよい。

生産時の環境負荷

- 異常気象で畑などが使えなくなる場合は、国内で農業ビルを建てると良いが、発電で使う燃料費が高騰しているため、燃料を使わない再生エネルギーを農業に活用するとよい。
- メタンガス発生などは、ガスを出させない肥料の利用など、技術革新で問題を解決できればよい。
- 牛肉は環境に悪いから、人工肉を食べる人がいる。大豆ミートは、美味しいとはいっても、肉と完全に同じ味や食感ではない。
- さとうきびやとうもろこしを燃料にしたら高く売れることから、アマゾンで森林破壊が進んでいると聞いた。



- 「食品と環境のかかわり」を感じた出来事やニュースは何ですか。その出来事を経験したり、ニュースを見たりして考えたことは何ですか。

人権や環境に配慮した食品の価格・流通

- 環境にすごく負荷がかかっていることを知れば、高い商品でも買うと思う。
- 有機野菜は高いが、出来るだけ無農薬の野菜を食べたい。
- 何の情報もなく2つの選択肢があったときに、やっぱり価格が安いものを買ってしまう。普段、環境に配慮したマークなどは見ておらず、まずは値段を見ている。
- 環境対策がされている商品が増えているが、全体的に値段が高くなってしまえば買いにくくなるため、今ぐらいの商品の量でちょうどよいと思う。仮に値段が上がらないならば、環境に配慮した商品が増えた方がよい。
- 大半の人は安い方を買うので、フェアトレード商品を買うと損した気分になるが、周りでフェアトレードの商品を買うブームが起きて大半の人の行動が変わるとよい。また、日本が直接カカオ農家とフェアトレードできたり、国内で生産できたりすればよい。
- SAF(持続可能な航空燃料)として、ドイツ・EUでは廃食油を使って飛行機の燃料にすることを、はじめている。
- 有名メーカーのチョコでフェアトレードや環境に配慮したものと聞いたが、売っているのを見たことがなく、買いたくても買えない。
- 世界の貧困をなくすなど社会問題を解決していかないと、途上国における環境破壊はある程度は発生してしまう。

農薬・遺伝子組み換え食品

- 農薬を口に入れることがなく安心できるため有機野菜を購入するが、お店で食べる野菜に農薬が使われていてもあまり気にしない。現在は数も少ないので購入するのも難しいが、有機野菜を作っている人を応援するという意味も込めて買った方がよいと思う。
- 米国に比べて添加物の基準がゆるいと聞くと、遺伝子組み換え食品は何か危ないかわからないのが怖いので、遺伝子組み換え表示の義務化などの対策をすればよい。
- 外国に比べれば日本の農薬の規制は厳しいと聞いているし、日本の野菜はまだ安心だとは思っている。とはいえ農薬は不安なので、大人になったら有機栽培の野菜を選べればよい。



- どのような取り組みがあると環境に配慮した食品が購入されるようになると思いますか。

意識啓発

- 学校等で環境に配慮した食品について教える、例えば、世界が100人だったらといった本のような表現で教えることで、こどもたちも興味を持って買ってみようとなるかもしれない。
- 環境問題の深刻さは、他人から聞くだけでは自分事には感じられないので、自身で体感する必要がある。社会科見学はその場限りであり、意識が高まったとしても行動に移す寄りの行動を移さない人になるだけ。
- 環境によい商品のマークを具体的に知らない。購入すればどう環境問題に貢献できるかを具体的に知ることができれば、意識して買えるようになると思う。商品の近くに、簡単に分かりやすく書いてあればいいのかもしれない。
- ご飯を満足に食べられていない人が世界に3億人いることについて、〇〇人に1人という表示をされると、より身近に感じ、当事者意識を持つことができ、危ない状況だと感じる。

環境や人権に配慮した食品の
認知度向上・支援

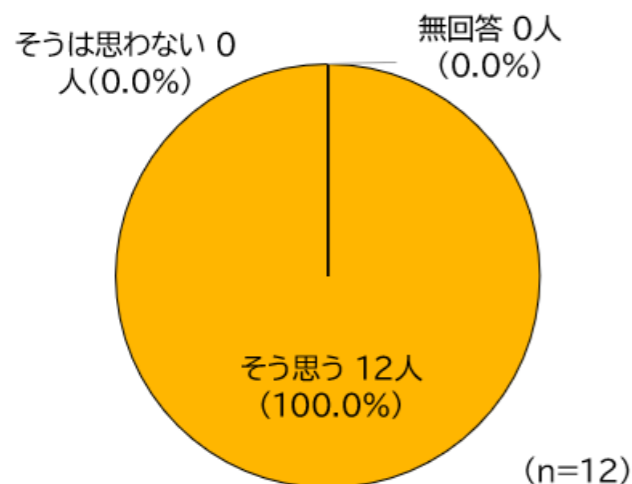
- JASマークがついている商品は安心して食べられることなど、健康に直結する情報には関心があるが、自分に大きく関わる情報でなければ、環境のことまで考えない。
- 有機食品はあまり認知されていないため、もう少し有機食品であることを押し出すべき。また、食品表示は裏を見ないといけないので、ロゴを大きくしたり、産地をアピールするパッケージにすればよい。フェアトレードのチョコレートの製品も、手に取るまでフェアトレード商品だと分からなかったの、もっとマークを大きくつけてもらえたら良い。
- みんなが知っているお菓子について、環境にやさしいバージョンを大量に生産すると良い。
- 環境に配慮した食品や高めの有機食品などについては、購入したことをポイント制にすると目に見えて良いし買う気になる。

環境配慮に加えた商品価値向上の工夫

- 有機食品が、リコピン10倍などであれば、買ってみたい。
- 一粒でも、栄養も取れ、満足感も得られ、体が回復するようなものがあるとよい。
- 買うと自分にも美容効果やダイエットにつながるなどのメリットを伝えられるとよい。
- 食品が入っている袋自体を食べられるようにするとよい。
- 保護犬や保護猫のための募金にもなるというようにするとよい。
- 有機栽培などは環境配慮シリーズのように「ブランド化」できるのではないかな。

参加者アンケート(対面開催回)

「いけんひろば」に参加してよかったですか？



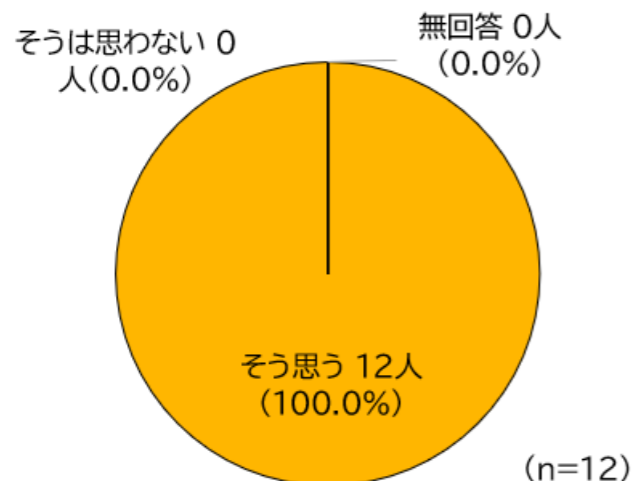
「そう思う」の理由(自由回答)

普段話することがないようなことを話すことができ楽しかったから。また、色々な人の意見を聞いたから。

自分が日頃感じていたことを好きなだけ話すことができスッキリしたし、それをファシリテーターさんはじめ皆さんがきいてくれて嬉しかったです。

仲間がいることに気づけたから。社会問題について現実的に考えられて少し希望が見えたから。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



「そう思う」の理由(自由回答)

ファシリテーターさんがいらっやったので、とても話しやすかったです。また人数が多すぎず、少なすぎず丁度良かった。

みんなひていしないできいてくれていたので、とても楽しく感じました。

メンバーが聞いてくれたので意見を言いやすかったです。



今日の「いけんひろば」の時間の長さや会場の様子などについて、気づいたことや感想があれば教えてください。

時間も環境も程良く、過ごしやすかったです。

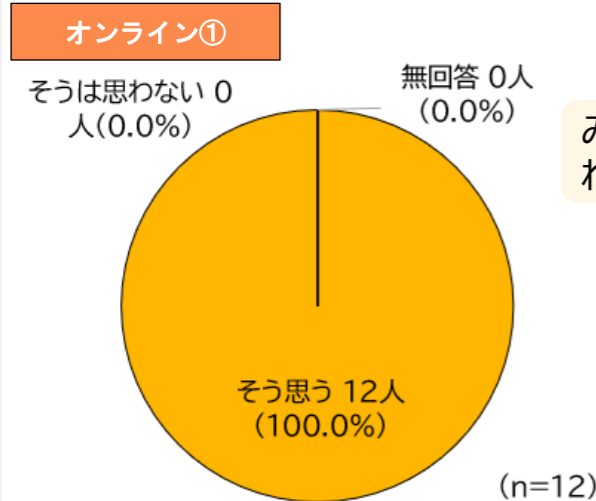
3人でも十分様々なアイデアが出ましたが、もっと大人数でも(発言するのに緊張しない規模で)面白いと思いました。

自分の中の1つの経験にもなって誇りとなりました。せっかく良い機会なので全国様々なところでやってもいいんじゃないか、と思いました！

参加者アンケート(オンライン開催回)

「いけんひろば」に参加してよかったですか？

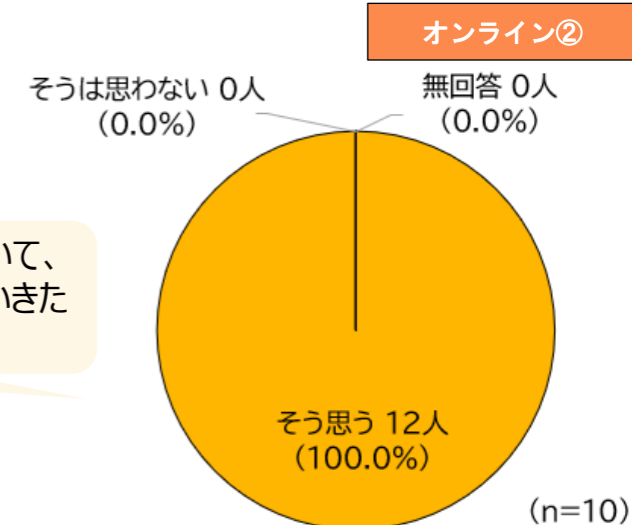
「そう思う」の理由(自由回答)



みんなの農業に対する気持ちを聞いて、学びが深められたから。

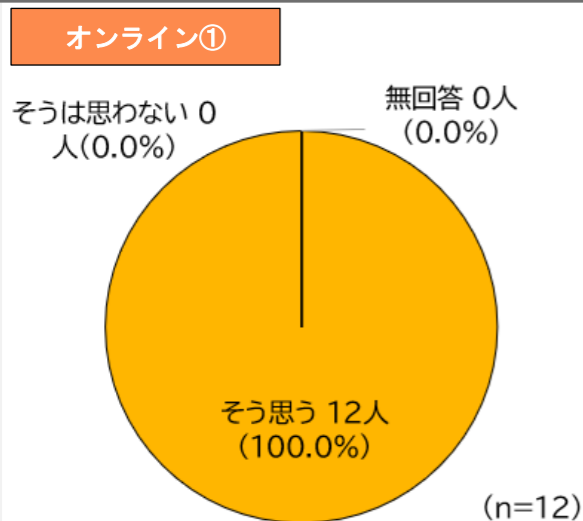
今までは、知った気でいた食と環境のことなどについて、ほかの方の意見を聞き、これからはより深く知っていきたいと思うことができたからです。

同年代で農業などの話題に真面目に話し合う機会はずっとないので、まずは自分の興味のある分野を深く話せて楽しかった。



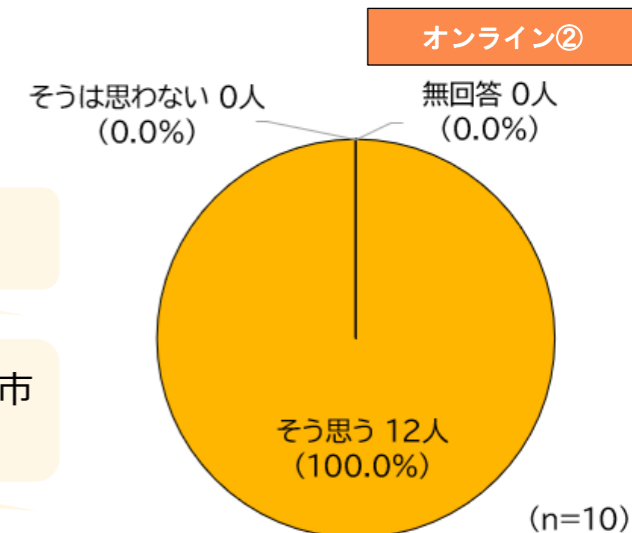
今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？

「そう思う」の理由(自由回答)



農業に小さな区画だけ畑を貸し出す制度があれば面白いと思った。

話したいと思ったことは言えました。言い足りなかったこととしては、都市農業でビルの屋上を使ったらいいと思うということです。



今日の「いけんひろば」の時間の長さや会場の様子などについて、気づいたことや感想があれば教えてください。

オンライン①

時間もちょうど良かったし、スタッフの方も優しくしたのでとても良かったです。

マイクをミュートにしているため会話するのが少し難しく思いました。対面のようにスムーズに会話できるようになるとより活発に話し合えるように感じました。

オンライン②

オンラインだから仕方ない部分もあるが、もっと他の子の意見に被せた発言がしやすい雰囲気だと良かった。(自分なるほどと思い大きく反応したときに、ファシリテーターさんが話を振ってくれたのが嬉しかった。)